

## ◀S·E·L·D·A·A▶

No.20

平成7年5月8日 発行

上智大学英語学科同窓会  
東京都千代田区紀尾井町7-1  
上智大学英語学科事務室気付

Sophia English Language Department Alumni Association

## “ディベートを教えるにあたって”

松本 茂



〈プロフィール〉

神田外語大学外国語学部英米語学科助教授。専門はコミュニケーション教育学。学部では「日本語ディベート」「英語ディベートⅠ」「英語ディベートⅡ」「英語パブリック・スピーキング」「コミュニケーション・メディア応用研究」、大学院では「スピーチ・コミュニケーション」を担当。日本ディベート協議会専務理事、日本コミュニケーション学会理事、文部省英語指導者講座講師なども務める。

今年度より同窓会寄付講座を担当させていただくことになり、とても光栄に存じます。前号で吉田研作先生が、「英語による講義を増やし、内容を重視することは大切ですが、同時に英語力そのものの育成を充実させる必要があります。特に、英語を書く力、そして英語でディベート・ディスカッションができるよう、英語科目の内容の改善を行なう必要があります」とカリキュラム改訂の方針について説明されておりますが、こういったお考えに基づいて、今年度より「英語学特殊講義(ディベート)」が開講されたものと受けとめております。

英語学科の学生にとって、英語や文化の「知識」だけでなく、英語を使いこなす「スキル」も必要であることは明らかです。そのスキルを身に付けてもらうためには、英語の四技能(聞く・話す・読む・書く)に加えて、「考える」という技能にも焦点を当てた指導が必要であると私は常々主張してまいりました。とくに論理的な思考(logical thinking)、批評的な思考(critical thinking)、そして迅速な思考(quick thinking)が大切だと思います。

一年間の授業を通して、受講生の思考能力を向上させ、英語と日本語の両方でディベートができるような人材を育成してまいりたいと思います。よろしく願いたします。

## オール・ソフィアンズ・デーで会いましょう

今年も1995年度SELDA総会を、5月28日(日)、オール・ソフィアンズ・デーに開催いたします。総会は15分程度で切り上げ、後は懐かしい先生方を囲んでの和やかなパーティーをしたいと思います。現学科長の吉田研作先生をはじめ、エヴァレット、バリー、グラチアーノ、ジョンニッセル、ミルワード、キュレーの各先生方がいらっしゃる予定です。ワイン、ビール、オードブルは飲み放題、食べ放題で、会費は無料。ぜひ同級生、ご家族、お誘い合わせのうえ、久しぶりに四谷のキャンパスまでお出かけください。

## ●1995年度SELDA総会●

- 日時：5月28日(日)13:30より  
場所：上智大学7号館12階第6会議室  
議題：1)次期会長及び監査役選出  
2)1994年度決算報告及び  
1995年度予算案  
3)その他

# 「価値観」



日本ポラロイド(株)一般映像部部长  
小関 敬之輔(昭和39年卒)

卒業して30年になりました。上智の英語科に学んだことが、今日の私の出発点になっています。上智から留学の機会をいただいたことが縁で、今の仕事があり、また素晴らしい人々との出会いを通じて多くのことを学ぶことができた30年は、英語科の出発点なくては考えられず、感謝しております。

マーケティングを中心とした仕事をしてきましたが、仕事柄よく「価値」ということを考えます。言うまでもなく、日本はごく最近まで絶対価値観というものを持つことがなく、欧米と肩を並べたいという相対価値観を持って歩んできました。

企業は他社に負けまいと努力し、個人は隣人が所有するものを買いたいという、いわば横並びの価値観に、国家から個人に至るまで縛られた状態であったといえます。しかし、欧米に追いつき追い越せて走った結果、ついに先頭に立った今、これからどの方向にどのように歩むべきかを定める、バックボーンとなるべきしっかりした自分の価値観を持つことが必要と思います。

マーケティングにおいても、物的充足が過去の言葉になった現在は、特定の商品やサービスの提供で対応するだけでなく、企業がどんな生活テーマで、どんな価値観を持って語りかけるかが肝要です。例えば、週末を楽しく過ごしたいという生活者の願望に対応するためには、1枚のポラロイド写真を通じて、消費者というよりもむしろその人間といかに関わるか、という発想が大切だと思うのです。

さて、そういう私自身、週末になると、ともすると空いた時間に自分をいかに縛るかという、追いつき追い越せ時代の刻苦勉励型の過ごし方になりそうなので、その防止のためにスケッチブックを持ってのんびりと歩いております。腕の方は相対価値は皆無ですので、せめて自分勝手な絶対価値観でいつも満足するようにしております。

## 「英語と社会(B.T.F.) 講座(1991-1994) について

英語学科の卒業生が上智に帰って(Come BACK)、在校生に卒業後の社会、未来へ(To the FUTURE)の展望を聞いていただく授業として、「英語と社会」通称「Back to the Future」という授業があった。1991年に松尾先生が最初の担当教員になった。翌年に学事部長となったので、この授業を私に譲った。

引き受けたときに、斎藤敬子さんが卒業側を担当してい

# 「ロサンゼルスでの日々」



弁護士秘書

堀田 ローズアンヌ(昭和48年卒)

卒業後、日本で中学高校の英語を教えていましたが、78年に南カリフォルニア大学大学院に二ヶ国語教育を学びに来たまま、ここロサンゼルスに居ついてしまいました。

現在、弁護士の秘書をしています。主な仕事は日系企業のための様々な査証申請に関し、顧客と弁護士間の橋渡し役です。顧客の意思を正確に伝達しなければならないので気が疲れますが、私の上司は日系3世ですので、言葉はわからなくとも日本人の考え方、気持ちがわかり、助かります。

日本からの若い方たちとお話しますと、日本も、日本人も、日本語も変わったなと思うことが多いこの頃です。

2人の子供は日本が大好きで、4分の1日本人であることにプライドを持っています。日本語の方は聞く能力はあっても、話す方はなかなか難しいようです。アメリカの教育の場に入ると、話す能力の方が落ちてしま

うことが多いようです。上の娘が9年生。アメリカの高校生はあまり勉強しないとよく言われていますが、進学コースの生徒たちは指定科目の勉強のほかに、様々なプロジェクト、スポーツ、コミュニティサービス等が大学入学の選考基準に入るので、非常に忙しい生活です。下の息子は5年生。任天堂のゲーム、学校のバンドのトランペット、それに空手に明け暮れています。アメリカの小学校の教育は、もう少し基本的なことに重点を置いたらいいのにと思うことがあるのですが、様々多量な本を読み、クリエイティブな作文、自分で選んだテーマでのリサーチ等、それなりに励んでいます。

とりとめもなく書いてしまいましたが、以上近況というところです。

ただいたが、次の年から小林修さんに変った。不景気のために講演をする暇のある卒業生が見つかりにくくなったので、去年の夏から、この授業と英語学科卒業生の会との縁が切れた。支援なしに講演者を集めるのは難しかったので、今年度から「英語と社会」は終了になった。

引き受けたときに、この授業は就職に向かっている学生を対象としていたのに、多くの受講生は1、2年生だった。次

の年から上級生のための授業になった。人数も減り、目的も絞られたが、思ったほど真剣なディスカッションに発展しなかった。もしかして、この授業の一番の効果は、就職の支援より、1・2年生の大学に対する展望を作ったことかもしれない。先輩が語る卒業後の社会に照らし合せながら、今、学生として何をすればよいのか、考えさせられた。

# 英語学科卒業生が 著した本・CD

英語学科卒業生もすでに5,000名を越え、各業界、各地で活躍しています。  
その一端として、卒業生が著作、翻訳した本を、今後順次紹介してまいります。

小説

「グレイの鍵盤」 たくき よしみつ 著 (昭和53年卒) 翔泳社

音楽小説3部作。耳の聞こえない天才作曲家が作った「名曲創作パソコンソフト」の謎(表題作)など、3つの不思議な体験をする音楽家の物語です。(1995.4.15発売)

「雨の降る星」 たくき よしみつ 著 (昭和53年卒) 集英社文庫

エイズが夫婦感染。感染を知らずに麻衣香は恋人、秋将との新しい人生を模索し始めていたのだが……。人間の心の闇と、血縁を描いた問題作。

著作本

「重層民族国家アメリカの底力」 松尾 式之 著 (昭和39年卒) 徳間書店

「英語の辞書を使いこなす」 笠島 準一 著 (昭和48年卒) 講談社

翻訳本

「眠れる森の美女」(V.ハビラント著) 谷口由美子訳(昭和47年卒) 学校図書

「石油謀略」(J.マクガホン著) 藤本直訳(昭和43年卒) TBSブリタニカ

CD

「狸と五線譜」 たくき よしみつ (昭和53年卒)

オリジナル音楽9曲+タヌキや野鳥、蛙の鳴き声、雷鳴、せせらぎ、笹藪を吹き抜ける風の音など、自然界の音が収録された環境音楽風のユニークな作品です。

「グレイの鍵盤」 たくき よしみつ (昭和53年卒)

エレアコ・ギター・デュオのフュージョン風作品集です。作曲は全曲たくきよしみつ。演奏はたくきよしみつと吉原寛の2人によるユニット「KAMUNA」。同名の小説単行本「グレイの鍵盤」(翔泳社)の出版に合わせて発表。

※CDはいずれも自宅スタジオ「タヌバック・スタジオ」レーベルのインディーズで、通販でのみ手に入ります。

※価格は両方とも1,300円(税込)、送料300円(1枚につき)。郵便・FAX・電子メールで注文を受け付けています。

## ●お問い合わせ・注文先

郵便……〒215 川崎市麻生区東百合丘1-29-5-4 タヌバック・スタジオSP係

FAX……044-955-8364

電子メール……KHB12641 @niftyserve.or.jp(ニフティ又はインターネットで)



# 女性セミナー 10周年記念パーティー

川端 啓子(昭和43年卒)

去る12月3日、ソフィアズクラブでSELDA女性セミナーの10周年記念パーティーが開かれました。出席者は会員57名、これまで講師として参加して下さった先生方10名、それにSELDAから会長等2名が加わり、なごやかなおしゃべりのひとときを過ごしました。

初めに、この会のために鹿児島から戻られたニッセル神父様のお話がありました。神父様はやや太られ、顔色もよく、大変お元気そうで、懐かしい顔ぶれを前に、大学で教えたり、ミサでは日本語で説教をするといった、鹿児島での日常やこれからのこと等を、嬉しそうに話されました。

思い返してみると、このセミナーの生みの親はニッセル神父様なのです。子育てから手が離れかけてきた女性会員達の中から、再び大学に戻って何か勉強会をしたいという声が上がリ、それに応えて、神父様によるビデオを使ってのShort storiesを読む会が始まりました。その後、ご自身の仕事が忙しくなると、学内のほかの先生方を講師として紹介して下さいました。今では学外の講師をお招きして、テーマも心理学から世界各地の事情にわたるようになりました。単に英語の勉強にとどまらず、世界で今、何が起きているのかを知り、私たちはそれに対してどのように考え、対処していかなければならないかを考える良い機会となっています。

10周年をひとつの区切りに、これからも多くの参加者を得て、この会が一層発展していくことを願っています。

日 時：原則として毎月第4水曜日

午前10:30～12:00

場 所：かつらぎ館地下ホール

会 費：3,000円/年

連絡先：世話人(49年卒)

日岡久美子 03-3775-8988

渡辺まかや 045-361-4221

会計 三好比呂子 03-3348-0285

# コミュニティ カレッジへ 参加しませんか？

大学を卒業して何年も経ったが、また何かを学びたい。新しく外国語をひとつ勉強してみようかという気になった。久しぶりに教室で講義に出て、学生気分に戻ってみたい。そんな気分になったら、懐かしい四ツ谷のキャンパスへ戻ってきませんか。

上智大学では社会人のための公開講座を開講しています。上智大学公開学習センター（通称コミカレ）がそれです。年間を春期（4月～7月）と秋期（10月～1月）の2期に分けて、教養・実務・語学講座が、また9月と3月には語学集中講座が開講されています。最近では学部の授業の一部がコミカレにも開放され、英語学科でも昨年度は丹野先生がコミカレの社会人と学部の学生の混合授業を担当されました。（本年度は丹野先生がサバティカル休暇のために休講）。ちなみに1995年度春期には22の教養・実務講座が開講されており、そのうち4つは学部の授業です。語学講座では、英語の他、フランス語、ロシア語、ポルトガル語、中国語、コリア語、インドネシア語、フィリピン語、ドイツ語、スペイン語といった言語が学べます。

受講料はおおむね90分あたり1回1,900円（集中講座2,600円）です。例えば、春期に13回行なわれる講義の場合、24,700円となります。（卒業生は1割引）。その他に登録料として3,000円が必要です。受講を希望する方は、まず公開学習センターに登録し（登録は同一年度の間、有効）、そのうえで希望する講座を予約専用電話にて予約し、最後に受講料を銀行振込で支払います。受講の前に窓口に出向くことはありません。

次回9月期語学集中講座については6月中旬ごろ、秋期社会人講座については7月中旬ごろ、それぞれパンフレットが発行される予定です。受講してみようという方は、その時期に公開学習センターまでお問い合わせください。

（TEL 03-3238-3551）

## ●会員名簿を発刊しました。異動通知にご協力ください。

SELDAAより本年3月30日に、平成6年版の会員名簿を送付いたしました。今回の名簿以後、ご住所、勤務先などに変更があった方、名簿の誤りを訂正される方、お名前正しい読み方を知らせてくださる方は、同封の葉書にご記入の上、早めにご投函ください。

また住所不明の方が多数いらっしゃいます。消息をご存知の方、情報を葉書の通信欄を使ってお寄せください。皆様のご協力をお願いいたします。

### SELDAAより、募集とお知らせ

- SELDAAでは卒業生の方より、この会報に載せる記事を募集しています。近況や最近感じたことなど、なんでも結構です。原稿に写真を添えてお送りください。
- OB、OGによる趣味のサークルメンバーを募ります。グルメの会、ハイキングの会など、現在活動しているものから、これから設立を考えているものまで、何かございましたらご一報ください。
- この同窓会の常任委員として手伝ってくださる方を募集しております。私達と一緒に会を盛り上げてくださる方、ご連絡お待ちしております。

上記に関するご応募・お問い合わせは、お気軽にどうぞ。

連絡先 英語学科事務室 TEL.03-3238-3719 本田由美まで

本会の諸活動は、卒業生の皆様からの会費で運営されています。事務局一同は、より一層の活動内容の充実と拡大を図っていく所存です。同窓会の円滑な運営のため、まだ会費の未納の方は、同封の振替用紙で最寄りの郵便局、または銀行より是非お支払いいただくようお願い致します。その際、卒業年度を記入してください。卒業年がありませんと、帳簿記入の事務処理がはかどりません。

尚、今まで一度も会費をお支払いいただいていない方は、入会金も併せてお支払い願います。

入会金：1,000円

年会費：2,000円(できれば3年分まとめて)

#### ＜会費お支払い状況＞

封筒に貼付してある宛名ラベルの右上部をご覧ください。

朱書きの数字は、'95年度以降その年度分までの会費が支払われている。

数字の後に(1)とあるのは、その年度は年会費の1/2(1,000円のみ)が支払われている。

朱書きで"入"とあれば、入会金は支払われているが、'95年分の会費が支払われていない。

「朱書きのない」のは、今まで一度も入会金も会費も支払われていないことを、それぞれ表しています。

事務局長

